



**海外販路拡大を目指す
県内企業15社が参加！**

シンガポール／アメリカ(ハワイ) バイヤー招聘 食品輸出商談会開催

6月7日から9日の日程でシンガポールとハワイからそれぞれ食品関係のバイヤーを招聘し、両地域を対象とする商談会を6月8日に同時開催しました。

今回はシンガポールの有名日本料理店「厨(KURIYA)ダイニング」の総料理長と、日本食品をメインとしたスーパー「マルカイマーケット」のハワイ仕入担当バイヤーを招聘、ならびに商談の効率化を図るために、それぞれの日本国内の仕入・物流担当者にも商談に参加していただきました。それにより、輸出経験がない企業でも手続き等の心配することなく積極的に商談に参加できる機会を提供しました。

商談会には県内企業15社が参加し、2地域のバイヤーに対し、それぞれ14社が商談をおこないました。

バイヤーの評価は、秋田県の食材・食品の多様性にあらためて驚き、海外展開に向けた可能性がある商品も多く見つかったというものと、他県に比べ輸出経験が少な



シンガポールバイヤーとの商談会



ハワイバイヤーとの商談会

い参加者が多かったとのことから、これから海外市場に関心を持つ企業が増えていくことを期待するといったものがありました。当協会としてもこれまで以上に県内企業の海外展開の促進、サポートに努めていく必要性を感じました。

シンガポールでは、今年11月に商談会で成約した商品を中心に、販売促進事業をおこなう予定です。またハワイのマルカイマーケットからは輸入アイテム数がまとまった場合には秋田県や東北地方の商品を対象としたフェアを現地で開催したいとの提案を受けています。



漁港の視察（シンガポールバイヤー）

今回の商談が継続し、多くの参加企業の方の海外販路拡大に繋がるよう今後もサポートを続けていきます。

秋田港湾事務所への要望活動

国土交通省東北地方整備局秋田港湾事務所
秋田県建設部秋田港湾事務所

4月26日、齊藤会長、大島副会長、児玉副会長、黒木専務理事他事務局1名が、国直轄と県の各港湾事務所を訪問し、秋田港の整備促進のため、要望書を提出しました。

国の港湾事務所では最初に要望の趣旨を会長から説明後、要望書を松渕所長に手交し、所長と幹部職員7名の方々と活発な意見交換を行い、互いの一層の協力を確認しました。

また、秋田県港湾事務所でも要望書を手交後、佐藤所長からコメントを頂き、有意義な意見交換をすることができました。

秋田港が環日本海の交流拠点として一層の発展を目指し、貿易拡大に向け利便性の向上を図るとともに、東日本における防災拠点として安全安心の提供や、エネルギー供給基地として各種プロジェクト事業を推進し、地域経済に大きく貢献できる、総合的な拠点機



東北地方整備局秋田港湾事務所

能を有する港湾としての整備促進に向けた要望活動を今後も続けていきます。

一般社団法人秋田県貿易促進協会 平成29年度定時総会開催



定時総会（秋田ビューホテル）

新年度に入り、正副会長会議（5月17日）、監査会（4月25日）、理事会（5月17日）を経て、6月23日、秋田ビューホテルに於いて平成29年度定時総会が開催されました。開会に当たり齊藤会長は、会員、関係機関等への感謝を述べたうえで、今年度も国や県および関係機関との連携を強化して事業継続するとともに、新規事業へも積極的に取り組む決意を示しました。

議案審議は、平成28年度事業報告と決算報告、平成29年度事業計画(案)と予算(案)のほか、理事の選任、顧問および参与委嘱の同意についても満場一致で承認されました。これにより、秋田県産品輸出促進事業を主体とした貿易取引の拡大促進、そして貿易相談と普及啓発活動、さらに組織運営と関係機関連携という事業方針にもとづき、県内企業の海外進出をサポートしていくこととなります。

総会終了後は、会員、来賓等51名参加のもと、懇親会が開催されました。公務多忙の中ご臨席いただいた秋田県産業労働部水澤部長様から来賓挨拶を頂戴し、上小阿仁村小林村長様の乾杯で開宴した懇親の席は、秋田県貿易の振興や県内企業の海外進出に向けた意見交換など、実のある交流の場となりました。中締めは、秋田県商工会連合会松浦専務理事様による、今後の秋田県貿易発展に向けた激励の三本締めをもって、盛会裏に終了しました。

平成28年度に実施したフェア・商談会・ミッション等

事業名	実施日/場所	内容
海外取引拡大事業 シンガポールフェア	平成28年10月3日～10月11日 シンガポール	大型商業施設「ジュロンポイント」内にある常設展示場「和テンションプラザ」において、食品を中心とした県産品のフェアを開催。また、現地日本料理店「厨（くりや）ダイニング」との商談、現地輸入業者やスーパー等を訪問しての市場調査等をおこなった。
海外取引拡大事業 韓国バイヤー招聘	平成29年2月13日～2月16日 秋田県内	韓国よりインテリア、雑貨の輸入に関心がある企業の代表者3名を招聘、県内関連企業とのマッチングと商談を支援した。また、現地経済団体である韓国輸入協会の会長が来訪したことから、当協会正副会長との面談により両協会の交流を深め、さらに秋田県、秋田商工会議所等を表敬訪問し、現地とのネットワークの構築・強化をおこなった。
経済交流支援事業 ベトナム経済交流ミッション	平成28年9月25日～9月29日 ベトナム ヴィンフック省およびハノイの各近郊	秋田県との共催により実施。県とヴィンフック省が取り交わした経済・農業分野における協力関係促進の覚書をベースとした今後の交流や連携について、同省と協議した。また、現地の関係機関・施設を視察し、現状を調査した。
中国販路拡大事業 中国バイヤー招聘	平成29年2月6日～2月8日 秋田市、潟上市、湯沢市	中国北京からバイヤーを招聘し、秋田県産日本酒の販路拡大に向けた酒蔵視察・商談および日本酒販売店等の市場調査を実施した。
JAPANブランド海外販路開拓事業 パリ販路開拓	平成28年9月21日～9月28日 フランス パリ	湯沢地方伝統の味噌醤油、いぶりがっこ、川連漆器をコラボレーションして、日本への関心が深い欧州での新たな販路開拓を目指し、寿月堂パリ店での展示会、パリ日本文化会館でのプレゼンテーションを実施した。
JAPANブランド海外販路開拓事業 北米調査	平成29年1月22日～1月27日 アメリカ サンフランシスコ	パリ販路開拓事業の結果を受け、さらに北米（主に西海岸）での販路開拓可能性を探るため、日本食レストラン、スーパーマーケット、専門店等の視察、調査等を実施した。
秋田市受託事業 台湾・台北	平成28年8月24日～8月31日 台湾 台北世界貿易センター	酒類を中心とした見本市「台北国際ショナルワインエキスポ」に出展し、現地企業と商談をおこなうとともに、試飲・試食提供などによるプロモーションを実施した。
秋田市受託事業 中国・上海	平成28年11月7日～11月10日 中国 上海新国際博覧中心	上海食品総合見本市「FHC CHINA2016」に出展し、現地企業と商談をおこなうとともに、試食・実演などによるプロモーションを実施した。上海食品総合見本市「FHC CHINA2016」に出展し、現地企業と商談をおこなうとともに、試食・実演などによるプロモーションを実施した。
秋田市受託事業 マレーシア・クアラルンプール	平成28年11月24日～11月29日 マレーシア クアラルンプール	現地商業施設「パブリカ」内の日本食品専門店「十九代目鈴木商店」にて、試食提供などによるプロモーションを開催した。
秋田市受託事業 タイ・バンコク	平成29年1月18日～1月23日 タイ バンコク	現地日本食レストランにおいて、秋田市内企業の商品および農産加工品等を使用したメニューの試飲・試食提供によるプロモーションを開催した。

農林水産省
補助事業平成29年度農林水産物・食品輸出促進対策事業
(輸出に取り組む事業者向け対策事業)に申請しました

国（農水省）では輸出に取り組む事業者向け対策事業として、平成31年に農林水産物・食品の輸出額目標1兆円を達成することを目指し、「農林水産物の輸出力強化戦略」に基づき農林漁業者や食品事業者等の意欲的な取組みを支援しています。

主な内容は①ジャパンブランドの確立に向けた取組み②産地間連携等による輸出振興体制の構築を図る取組み③輸出環境整備を図る取組み④輸出可能となった海外市場での販売促進活動の取組み⑤先進的輸送技術による最適輸出モデルの開発・実証を図る取組みの5項目についての支援となっています。

当協会では昨年度実施した「うどん」を軸とする産地間連携を継続し、秋田県稲庭うどんブランドの海外での定着化および販路拡大を目指すため②の取

組みに申請しました。

事業内容としては、タイ・バンコクとシンガポールの百貨店において「ご当地うどんフェア」を開催、秋田県と他県のうどん販売事業者と協力・連携のもと、実演と試食販売によるPRを行います。

昨年度の実施では、日本食ブームの高まりもありうどんの認知度は高く、秋田県稲庭うどんのクオリティーの高さや食感（のどこし）の良さを訴求することができ、高い評価を得ました。

今年度も商品の本質が伝わり、その価値が十分に理解されるようPRをおこなうとともに、現地ニーズに対応した出荷体制を構築して輸出の拡大を図ります。

平成28年度農林水産事業 事業報告

対象国・地域	実施日	内 容
シンガポール	平成28年10月3日～10月11日	現地商業施設内にある常設展示場「和テンションプラザ」において、秋田稲庭うどんと香川さぬきうどんの連携による「秋田・香川うどんフェア」を開催し、実演・試食によるPRと小売りおよび実食販売をおこなった。
タイ・バンコク	平成28年11月24日～12月3日	現地商業施設「サイアムパラゴン」において、秋田稲庭うどんと香川さぬきうどんの連携による「秋田・香川うどんフェア」を開催し、実演・試食によるPRと小売りおよび実食販売をおこなった。



バンコクでのフェア



うどんの実食販売



手打ちうどんに関心を持つ人々



シンガポールでのフェア

秋田県貿易促進協会職員コラム

～当協会職員を紹介します～



今年の4月からJA全農あきたより当協会に配属になり、農林水産省の「農林水産物等輸出支援事業」を担当することになりました。

JA全農あきたでは米穀事業に長年携わり、主に「あきたこまち」等の主食用米を首都圏の米穀卸業者や大手量販店に販売・提案する仕事をしておりました。

輸出に関しては全くの素人であり、協会でどんな仕事・貢献できるのか不安なところがありますが、会員皆様の取組み・要望をお聞きし、海外のお客様へ積極的にアピール・セールスできるようがんばりたいと思います。

秋田県は有形・無形の資源を多数有しており、そこから生まれるものは未知数の可能性を秘めていると思います。会員皆様の商品はその一つと考えておりますので世界に向けて発信してまいります。

農産物販売促進部部長 佐々木 寿

貿易普及啓発事業

セミナー・講習会の開催 (協会主催または共催)

貿易実務講座
(基礎編、応用編)

基礎編：平成29年6月27日（火曜）9時30分～17時00分
 応用編：平成29年6月28日（水曜）9時30分～17時00分

6月27日・28日の2日間、アトリオンの研修室にて、ジェトロ秋田との共催により貿易に関心のある県内企業や個人の方々を対象とした「貿易実務講座」を開講しました。

講師には昨年と同様、教え方に定評のある(株)アースリンクの貿易アドバイザー川村久美子氏をお招きし、「貿易実務の基礎がわかる本」(曾我しのぶ著)をテキストに、実務書類の写しなども参考にしつつ、貿易取引についてわかりやすく丁寧に解説していただきました。

講座は、初日の「基礎編」では貿易用語の解説や決済条件の種類など基礎的な内容を中心に、2日目の「応用編」では具体的な手続きの流れやリスク回避などの内容のほか、貿易書類の作成を演習を交えながら進められ、2日間のカリキュラムを予定通り終了しました。今年は基礎編に32名、応用編に19名の参加があり、実務に役立つ講座だったと好評でした。



貿易実務講座の様子

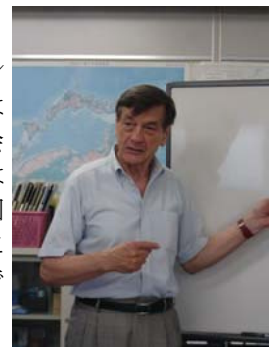
ロシア語講座
(入門、初級、中級)

入門：毎週木曜日 17時30分～18時30分（祝祭日除き20回程度）
 初級：毎週月曜日 17時30分～18時50分（ " " ）
 中級：毎週水曜日 17時30分～18時50分（ " " ）

ズドラーストヴィチェ！＝こんにちは！

ロシア極東地域とのマッチングと経済交流促進の一環として、今年も4月から「ロシア語講座」が始まりました。同講座には入門・初級・中級の3コースがあり、入門では全くロシア語が初めての方向け、初級では基本的な日常会話と文法、中級では自由な会話と文法の発展を学習します。講師は、入門コースが泉スベトラーナ氏、初級・中級は当協会の専門アドバイザーでもあるネザムトチノフ・ヴィクトル氏が務めており、毎回熱心な指導をおこなっています。難しそうないメージのあるロシア語ですが、両先生によると、実は発音は日本語に近く、文字数も英語と大差がないため、覚えやすい言語であるとのこと。

毎年好評の同講座ですが、本年度は3コースを合わせ19名の方が受講しています。授業は各級とも週1回、半年間で20回を予定しています。

初級・中級講師
ネザムトチノフ・ヴィクトル氏

今後実施予定の事業

海外取引拡大事業

秋田県産品輸出促進事業

韓国(8月)、ベトナム(9月)、中国(10月)、シンガポール(11月)

経済交流支援事業

ミャンマー経済ミッション派遣事業(10月)

JAPANブランド海外販路開拓事業

フランス・パリ事前調査・打ち合わせ(7月)

フランス・パリ販路開拓事業(11月)

農林水産事業(農林水産省補助事業)

「ご当地うどんフェア」の開催

タイ・バンコク(11月)、シンガポール(1月)

秋田市受託事業

台湾・日本酒見本市「台北Sakelism」出展(9月)

※上記スケジュールは変更になる場合がございます。詳しくは事務局までお問合せください。

あなたの貿易ビジネスをサポート！



一般社団法人
秋田県貿易促進協会

ホームページアドレス
<http://www.a-trade.or.jp/>

秋田市旭北錦町1番47号
秋田県商工会館5階

電話：018(896)7366

FAX：018(896)7367

Email：info@a-trade.or.jp